



## 地域から 交通事故を無くしたい

八代地区交通安全協会昭和支部長  
(八代地域交通安全活動推進委員)

**武井 弘治郎 さん**  
(昭和日進町)

「危ない 事故多発地点」「危険 死亡事故現場」の看板が立つ。昭和校区の農免道路沿いにある南側の信号機付交差点を西に下った、最初の信号機のない交差点である。平成4年8月8日の夕方、出会い頭の交通事故が起き、バイクを運転していた人が亡くなった。

武井さんは本町4丁目の出身。定時制高校生の頃から同町で兄と鉄工所を営んだ。

若い頃は、バイクや自動車でも4回ほど交通事故を起こした経験があり、「若気の至り」と語る。

昭和60年に昭和日進町へ転居。間もなく交通安全協会の会員に、また交通指導員となった。

平成4年の死亡事故。その後も、農免道路で交通事故が多発した。「信号無視をする車がいる」と住民から苦情もあり、たまたま平成6年から自主的に農免道路の信号機のある交差点に立ち始めた。その頃は電気店に勤めており、仕事から帰った夕方5時半頃から1～2時間、ほぼ毎日。信号の順守に併せて、定着していなかったシートベルトの着用もジェスチャーで呼びかけた。今では信号無視が無くなり、シートベルトの着用も定着してきた。

その活動が評価され、平成8年に八代ロータリークラブから美しい献身と勇気ある善行を称える「ひまわり賞」を受賞

した。今年の3月まで4年間、市交通指導員会の会長を務め、これまでに交通安全功労者として全日本交通安全協会会長表彰や県知事表彰などを受けている。

今、昭和校区の交通安全協会会員たちで、校区内のガードレールの清掃と塗装作業に取り組んでいる。日ごろからガードレールの汚れやサビが気になっていた武井さんが『ガードレールがきれいになれば、事故もより起きにくくなるのでは』と発案し、作業を計画。5月から日曜日に、参加できる会員で市道沿いを手掛けている。小型トラックに発電機を積み高圧洗浄機で泥を落とし、金ブラシやサンダーなどでサビ落とし。布で拭き上げ、刷毛やスプレーで白ペンキを塗って仕上げている。

「陸上競技をしている孫の応援や娘家族と出かけることが楽しみ」という武井さん。遠出をするときは、娘さんなどの運転に頼ることが多くなったという。交通安全をいつも願っている。



▲ガードレールのさびを落とす武井さん



2014.AUGUST No.114

- 3 やつしろ全国花火競技大会  
有料観覧席 販売開始
- 4 八代くま川祭り
- 6 全国小学生ABCバドミントン大会
- 7 八代型 小中一貫・連携教育
- 8 ひとり親家庭のための  
支援サービス・制度
- 9 障がい者(児)の手当
- 10 介護保険料 決定
- 11 八代市地域包括支援センター
- 12 台風の季節到来 風水害に備えましょう
- 13 平成26年度 八代市職員募集<後期日程>
- 14 暮らしの情報
- 16 市民カレンダー
- 18 暮らしの情報
- 24 伝言板
- 25 広告
- 28 まちのわだい  
高田小学校で花育活動  
キッズチャレンジ2014  
八代ライオネスクラブから最後の寄付  
やつしろがめさんWAON寄附金贈呈式  
他10件
- 31 広告
- 32 夏の風物詩・松井文庫の「妖怪絵巻」